

# 環境に影響を与える関連化学物質対応

ニチレイグループでは、化学物質の長期的な環境影響を考慮し、環境や人体に影響を及ぼす物質の使用量および排出量削減に努めています。また、生産プロセスや製品、サービスで使用される化学物質に対して、法に定められた基準に従った保管・管理を行っています。

## ダイオキシン対応

ダイオキシンは大きな社会問題となっており、その発生源の一つと言われる焼却炉の管理については年々規制が強化されています。ニチレイグループもダイオキシン類対策特別措置法の規制対象能力を有する焼却炉を所有していたため、焼却に関する管理基準、排出基準を遵守した運転を行っていましたが、こうした状況を重く捉え、2001年度には、低温物流事業で所有する焼却炉(23基)の使用停止を完了しました。さらに2002年度には、食品事業で稼働中の3基のうち、2基の使用を停止しました。停止した焼却炉(低温物流事業23基、食品事業2基)については、解体撤去を関連法規(労働安全衛生法、廃棄物処理法)に基づき実施しました。食品事業の残る1基についても2003年度中に使用を停止し、解体撤去を実施する予定です。



焼却炉の撤去作業風景

## PCB対応

現在、PCB含有のコンデンサーなどを約300基所有しており、未使用のものについては法に定められた基準に従って保管するとともに、保管状況の届出を実施しています。保管状況、届出状況については社内監査時の確認(p14参照)、年度末に各保有事業所でのチェックを実施しています。

## PRTR法対応

PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)とは、「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の促進に関する法律」のことで、人の健康や動植物の息、生育に支障を及ぼす可能性のある化学物質を一定量以上扱う事業者は、その排出量や移動量などを把握し、届け出を義務づけています。ニチレイグループにおける届出対象化学物質は稼働焼却炉のダイオキシンのみとなっています。

ダイオキシン類の排出量と移動量(届出事業所の合計)

大気への排出量	0.180mg-TEQ
事業所外への移動量	0.057mg-TEQ

TEQ:ダイオキシン類の毒性の強さを表す単位

# グリーン購入

ニチレイグループでは、名刺、OA用紙、封筒などに関するグリーン購入ガイドラインを設定し、オフィスでの環境保全の取り組みを進めています。

## 実施状況

(株)ニチレイにおける2002年度のグリーン購入率の実績は、名刺91%、OA用紙67%、社用封筒83%となり、取り組みの浸透を図ることにより購入率を向上することができました。さらに、下期よりグリーン購入ガイドラインの適用事業所をグループ全体に拡大して取り組みを進めました。今年度は期の途中からの取り組みであることから、年度を通じた実績は次期環境報告書にてご報告します。また、お客様やグループ従業員に配布しているニチレイの手帳・カレンダーには、これまでも再

生紙(古紙100%)を使用し、カレンダーはリサイクルしやすいよう、金具を使用しないなどの配慮をしてきましたが、2003年版は、さらに環境に配慮した用紙、印刷を採用し、エコマーク用語解説認定を取得しています。そのほか、(株)ニチレイフーズの食品工場、(株)ニチレイの物流サービスセンターの従業員が着用する制服をペットボトル再生素材を使用したものに変更したり、低温物流事業においては樹脂パレットの導入(p20参照)も進めています。



食品工場制服



物流サービスセンター制服



カレンダー・手帳



エコマーク

## グリーン購入ガイドライン

対象品目	ガイドライン	グリーン購入率
名 刺	ケナフ(非木材紙用語解説)100%または再生紙(古紙100%)	91%
O A 用 紙	再生紙(古紙100%)、白色度70%以下	67%
社 用 封 筒	再生紙(クラフト紙100%)	83%
その他文書保存箱等	再生紙、ボール箱等(古紙100%)	100%
事 務 用 品	環境負荷の低減を視野に入れ製造された商品を優先的に購入し間接的に環境保全への対応を行う(エコマーク商品を優先購入)	—

グリーン購入率 = 対象品目のグリーン購入品の購入総額 ÷ 対象品目の購入総額 × 100

# 社会貢献活動

ニチレイグループは「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」という経営理念の実現、そして地域や社会とともに継続的に発展していける企業グループとなることを目指して、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

## 蔵王のブナと水を守る植林事業に協賛

開拓などで荒地地となった蔵王山麓一帯を緑豊かな森に復元するために、(株)ニチレイフーズ白石工場の有志社員44名が、NPO法人である「蔵王のブナと水を守る会 [用語解説](#)」の植林事業にボランティアとして参加しました。この活動は年1回、今後6年間にわたって行われる予定で、将来的には白石市の環境条例で「不伐の森」として指定を受けることを目標としています。



(株)ニチレイフーズ白石工場が参画する植林事業

## 小笠原諸島の海洋センターへの支援

小笠原諸島の海洋センターは日本ウミガメ協議会 [用語解説](#) (NPO法人)が運営しており、ウミガメの飼育や放流などに取り組んでいます。ニチレイグループは、同センターの設立当初

(1982年)から、小笠原諸島に所有する自社の土地を小笠原海洋センターへ無償で貸与し、活動を支援しています。

## 地域美化活動

ニチレイグループでは、地域の美化活動などにも自主的に参加しています。また事業所周辺の清掃活動なども定期的実施しています。



(株)ニチレイフーズ長崎工場による清掃活動



(株)キョクレイによる清掃活動

## 公益信託経団連自然保護基金への協力

ニチレイでは1994年より、「公益信託経団連自然保護基金」へ毎年寄付を行っています。この基金は、地球上で最も多くの種が存在する熱帯雨林の保護や生態系の維持など、経済的にも重要な自然を保護することを目的としており、主としてアジア太平洋地域の発展途上国の自然保護プロジェクトに対する

助成活動や、保護地区における住民の環境教育など、長期的視点にたった活動を行っています。ニチレイでは東南アジアにおいて食材を調達していることもあり、この基金の活動に賛同し、寄付をしています。